

記者発表 (発表・資料配布)				
月/日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	T E L	発表者名 (担当課長(班長)名)	その他の配布先
5/23 (火)	兵庫県立美術館 営業広報グループ	078-262-0905	岡田 徹 (古巻 和芳)	—

異業種交流「産政塾」と美術館とのコラボ研修会について

兵庫県立美術館では、主に中部地方の企業労使が賛助会員となっている（公財）中部産業・労働政策研究会（中部産政研）の異業種交流プログラムである「産政塾」による当美術館を活用した研修会の実施に協力します。

- 1 日時 平成29年5月26日(金) 10:00～17:20
- 2 会場 兵庫県立美術館 レクチャールーム（1F）ほか
- 3 参加者数 35名程度
- 4 内容 養豊兵庫県立美術館長による講演
県美プレミアム「Out of Real 「リアル」からの創造/脱却」を題材とした
グループワークなど

*詳細は別紙のとおり

【問い合わせ先】

県立美術館営業広報グループ 古巻
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
電話：078-262-0905 FAX：078-262-0903

【別紙】

異業種交流『産政塾』と美術館のコラボ研修会について

1. 趣旨

中部産政研(※)の異業種交流プログラムである産政塾を兵庫県立美術館で実施。企画の中心テーマ、『新たな発想・企画に興味をもってもらうためには』について、アートが街の身近に感じてもらう活動を続けておられる蓑館長の講演から学び、当美術館の企画展を題材にしたグループワークとディスカッションを通して、自らの『殻』を破り、自らを成長させていく場です。

※下段参照

2. 研修概要

(1) 講演

-兵庫県立美術館 館長 蓑 豊 氏

(2) グループワーク

- 学芸員による企画展 (Out of Real 展) の 説明/鑑賞
- 美術にあまり興味のない人を対象に、企画展を題材として、どのように魅力を伝えるか、知恵と工夫を駆使してプレゼンを実施

3. 中部産政研について



(1) 中部産政研の特徴

公益財団法人 中部産業・労働政策研究会 (中部産政研) は、中部地方を代表する多くの企業労使を中心に、現在賛助会員として50団体 (トヨタ自動車・デンソー・アイシン精機・日野自動車・中部電力・大丸松坂屋 等) の皆さんに中部産政研の活動を支えていただいております。

労働組合と企業が発起人となるユニークな形で設立された財団です。

中部産政研のメイン事業は、

①調査活動②公開セミナー③産政塾④季刊誌の発刊です。



(2) 産政塾の特徴

異業種としてトヨタグループの自動車産業だけでなく、名古屋鉄道や中部電力、豊田市役所や東邦ガスなどから33名が参加。

参加者自らが研修の企画をし、様々な分野で活躍するプロフェッショナルの知見に触れながら、組織の枠を超えた本音の議論を通し、自らの『殻』を破り、自らを成長させていくプログラムを実施しています。

時間	内容	場所
10:00-10:15	趣旨説明	レクチャールーム
10:15-11:30	▽講演：兵庫県立美術館 館長 蓑 豊 氏 ※講演後、蓑氏を囲み、集合写真撮影	
11:30-12:15	昼食	会議室
12:15-13:10	▽体験：体験～グループディスカッションの進行説明 学芸員による企画展の説明 「Out of Real『リアル』からの創造/脱却」展 鑑賞	レクチャールーム ⇒展示場
13:10-14:40	▽グループワーク	レクチャールーム
14:40-15:05	▽発表：5チーム×5分	
15:05-15:15	▽講評：村田学芸員	
15:15-15:30	休憩	
15:30-17:00	▽グループディスカッション	
17:00-17:20	▽ふりかえり：企画チームまとめ/塾長講評/アンケート記入	
17:20	企画終了※終了後、別会場で懇親会を実施	